滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話百十八番　支配人室　事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
立神丸　六月八日太沽、芝罘、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間ヲ限ル
未明出帆ノ分ハ前日午後五時ヲ限ル
營口代理店　旗昌洋行（電話二十六番）

瀛船出帆廣告
秀吉丸　六月五日門司行
鷺取丸　六月六日門司行
萬成源丸　龍口定期
第二乾坤丸　六月七日門司四日市行
喜代丸　六月八日門司行
穎朝丸　六月八日門司、神戸行
伊豫丸　六月十日横濱行
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮州丸　六月九日入港
東營口公園地横
代理店　ブツレユ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋傘火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以資敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意業經著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待問詳倖可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧易勝榮幸之至　總司理人　田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉靜布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口東南處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡船輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜倘蒙有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

本號開設油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚選週知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號

保險運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨煤石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明保照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請駕本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒庫）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙梅鶴牌（陞沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

遼河運輸同濟公司

本號稟官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨踪交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東　營口南永世街北斗洋行
西　營口西北街塘子胡同內
樞開設

志岐組　木料棧　材料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

三井

電話　第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行

電話　第六十六號　第九十一號

鐵道 遼河 裕和盛運輸局

（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

廣・告

大阪鐵田組支店開設

今度新に內地より技師及職工を傭聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らす御注文の程奉祈上候
假事務所營口西北街高砂ホテル內
主任　鐵田米吉

縄叺莚販賣廣告

精々强勉仕候間不拘多少御注文奉願候尙は當地にて御入用之御方は南永世街三十七號地岩村眞鐵方へ御申越被下度候
大連市西通り二丁目四十三號地
東京門倉出張所

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

飯塚工程局材料部

營口元神廟前
（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結ひ廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

丸重洋行　貨物運輸

啓者　本行前在營口蘆賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉價籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話　營口八十八號　牛家屯四拾六番

廣告

今般元神廟街憲甲第二百三十號舊宅合名會社營口支店（澤龜）跡へ移轉仕り外來及入院患者の治療に從事致候此段謹告仕り候也
明治三十九年五月二十四日
酒井醫院　酒井榮次
（電話第一一九番）

青堆子　菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口　華盛通轉運行

專以代客運送各城貨物包裝火車格外價廉極其方便倘蒙諸君賜顧者請至本賬房面議可也
本行主人　李子鳴
執事人　蘇子方　楊兆豐　謹啓

一連紙　一連　一圓
一フールスカプ全　四圓
一中判洋紙全　百枚　二圓
一半紙罫紙　二十錢
一罫紙　四十枚綴　十四錢

一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一寢台　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一絨毛布　一枚モノ　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line, Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料　一ヶ月以上　銀十五仙乃至十…
一長期連掲減價面議

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二十九番）

東京電報 (六月四日發電)

●皇后陛下御行啓 來る十二日に開かるべき戰後第一回の赤十字社總會へ皇后陛下御行啓の御豫定なる旨承はる

●羅馬法皇の勳章贈與 羅馬法皇より今回桂伯及び珍田外務次官へパイアス勳章を贈り來れり

●米國大統領の謝意 米國大統領より曩きに我邦より贈與せる震災義捐金八萬圓に對し感謝の意を赤十字社へ通知せり

●公債發行の公表 大藏省にて臨時事件に關する一時賜金に充つる公債隨時發行の事を決定し其旨公表ありたり價格九十五圓

●三電車の合同 東京市內三電車は愈々澁澤男の仲裁を聞き入れ合同することに略決定せり

●デシノ少將寄港 上海にありたるデシノ少將米國渡航の途次長崎に寄港せり

●俘虜情報局閉鎖 京都なる俘虜情報局は既に閉鎖したり

●ロ總稅務司出發 淸國總稅務司ロバートヘート氏は夫人と共に四日長崎より横濱に向ふ

●露國技師の渡滿 露國遞信省鐵道技師コンスタン氏目下長崎に在り我政府の承諾を經て滿韓鐵道の視察を爲す筈なり

●滿洲經營委員會 四日滿洲經營委員會を開く

●滿洲博覽會打合 水町理財局長滿洲丸にて大連へ向ひたるが右は滿洲博覽會の件に關し石塚民政長官と打合を爲さんが爲めなりと確聞す

雜報

●日露條約交涉 日露通商條約は沿海州漁業條約と同時に在露本野公使及び露國外務省間に交涉開始せられつゝあるが兩者とも既に其の大體を議了し殊に通商條約は舊條約に缺點の改正を加ふるに過ぎざる由にて其の決定を見るは近々の中なるべしと

●露國撤兵遲延 露國政府の滿洲撤兵は敢て故意に遲延するの意なきが如きも運輸上の都合及び本國並に西伯利亞の形勢不穩なる等より兎角豫定の進行を見る能はず哈爾賓を中心として北滿洲一帶には尙二十餘萬の戰兵あり加ふるに馬賊の横行は日一日甚だしき有樣なれば到底豫定の十八箇月內に全部撤退の見込なく多分我か國に向て撤兵の延期を申込むならんと

●戰後教育計畫 戰後教育の施設に何等の發展を見ざりしは豫算の關係上已むを得ざるに出でたるものなるが近頃文部省に於ては明年度の豫算概算書を調査に際し是非とも所謂國民教育の展費を計上せん希望にて先づ刻下の國勢上如何なる種類の教育を發達せしめんか即ち國富を增進して永く世界等一國たるの實を收めんには大學實業普通何れの教育に全力を注ぐべきかに就き研究を凝らし居れり省內高等官多數の意見は絕對的に或一部の教育をのみ獎勵するは不可なりと云ふに一致し居るも國力涵養の點よりして實業教育は今一層の發達を要すべきものとし殊に我か國將來の趨勢に考ふる時は工業教育の獎勵を以て最も時宜に適したるものなりと爲し現在の工業教育規定に一大改正を加ふると同時に此の種類に屬する學校の增設を見るべしと云へり

●露人の日露觀 露國ノウオエ、ウレミヤ新聞は日露兩國再び開戰すべしとの豫言をなしたるか極東通を以て自ら任するバジエロフ氏は參謀本部總長パリケン中將に對極東意見なる一書を寄せたり同意見書によれば日露の再開戰は避くべからざることにして遲くとも六ヶ年以內には外交斷絕すべく而して露國は再び敗戰すべしとて軍事的理由を詳論せり同氏は一昨年一月既に日露開戰未來記を作り露國敗戰の模樣を明言し評判嘖々たりしといふ

●淸韓貿易爲替資金 滿洲輸出綿布組合より淸韓に對する綿布爲替を低利にて融通の便を與へられ度旨豫ねて政府に懇請する所ありしなるが政府は正金銀行に對し六月一日より年利四分五毛にて資金を融通することに決定せし趣四朱五厘にて淸韓貿易資金融通の便を與ふべきことを內達せる由にて右爲替資金は獨り綿布糸のみに止まらず燐寸其他滿韓輸出貿易全部に對するものにて金額の大小は勿論何等制限する所なく正金各地の支店にて取扱ふ筈なりと云ふ

●御在校中の三殿下 今回陸軍中央幼年學校を御卒業相成たる朝香宮鳩彥王、久邇宮稔彥王、北白川宮成久王三殿下には明治三十四年九月同校豫科に御入學、三十七年五月優等の御成績を以て豫科御卒業、三十七年九月本科御入學、今回拔群の御成績を以て御卒業相成たる次第なるが御在校中は一般生徒と共に同一校舍にて御研究あらせられ御外出も一般生徒と同樣校規を守らせられ殊に成久王殿下には極めて御力に富ませられ稔彥王殿下は最も御壯健にて御入學以後五ヶ年間一回の感冒にだも罹らせられず昨冬の如きは麻襦袢一枚に御服を着けさせられたる程なりといふ

●旅順口引揚艦船 旅順口にて引揚げたる戰利艦船の重なるものは戰艦四隻、巡洋艦二隻、水雷砲艦二隻、驅逐艦 隻、汽船七隻にして軍艦 萬四千六百六十九噸、商船一萬四千九百八十 噸なるが今後の引揚に屬すべきものは水雷敷設船アムールを最大なるものとし其他は浚渫船ヤンク等小船舶のみなりと引揚艦船の重なるものは左の如し

戰艦相模(ペレスウエツト)▲同丹後(ポルタワ)▲肥前(レトウヰザン)▲同周防(ポビエダ)▲同裝甲巡洋艦阿蘇(バーヤン)▲二等巡洋艦津輕(パルラダ)▲水雷砲艦敷波(ガイダマーク)▲同春雲(ブザドニツク)▲驅逐艦文月(シールヌイ)▲義勇艦隊汽船姉川(アンガラ)▲汽船生田丸(ニングタ)▲同吉林丸(ギリン)▲同二河川丸(ゼーア)▲同由良川丸(ブレーア)▲同弓張丸(チヽハル)▲同天草丸(アムール)

●關東洲の殘留財產 關東總督府にては本年一月廿一日告示を以て關東洲內各地に外國人退去の際殘留したる私有財產は八ヶ月以內に其交付を願出づる者に限り之が還付を爲すべき旨公布し一方には外國人遺留財產調査委員會を設けたるが爾來今日に至る迄所有權の確認及下附を願出でたるは三十七件動產の有無に付證明を願出でたるもの十五件に達し總督府にては疑問の存せざるものは成るべく速かに還附する方針なるが動產の如きは露國人退去後一時無政府の有樣たりし故全く掠め去られ今日に現存するは皆無の姿なる由

●滿洲博覽會の善後策 滿洲博覽會は其後經費の都合上行悩みつゝありて去る廿三日神戶に於ける發起者協議會となり同會にては尙一同其筋に交涉する事に決したるか若し同交涉にして目的を達する事能はざる場合は規模の小なる卽賣館の如きものを設くるに至るべしと

●花田中佐の報德會 日露戰役に於て軍人の任務を帶ひて滿洲の風に晒され歸朝後豫備となりたる陸軍步兵中佐花田仲之助氏は知恩報德の大義を明にせんとの目的を以て報德會なるものを起し同志を糾合して其主義を擴張せんとする筈にて今回其旨趣書を發表せり

●陸軍服制改正に就て 今回陸軍服制の改正に依り下士以下の着裝被服に關し陸軍大臣より定められたる大要の第一は從來の制服は改正の制式に改修して之を使用せしめ憲兵及騎兵に限り夏季着裝用(夏衣袴及其着裝に伴ふ第二種帽)のみを改修し其他の三十三年制々服は當分之を使用せしむること、其二は將來調制の第二種帽、絨衣袴、外套及雨覆の地質は濃紺絨地質の殘存する限り之を以て代用せしむると云ふ

●安東縣通信 (五月二十九日)

安東縣の將來 今や京釜京義兩鐵道全通し鴨綠江の一流を距て相呼應すべき韓端新義州と內地とは完全なる交通機關によりて確然連絡せられたるのみならず近々着手せらるべき鴨江の架橋によりて內地との連結を見るも亦遠きに非ず從て當地は今日に比し多大の貨物と旅客とを吸集するを得べし然して安奉線道は不完全ながら既に其工を竣りて列車を運轉せるのみならず去る四月一日より便乘者の請願を許可し公衆貨物の托送を開始したるを以て北滿よりも幾多の貨物と旅客とを吸集しつゝあり尙安東の生命とも稱すべき鴨江上流の木材は其大部目下在留三四の本邦商人によりて盛に運用せられつゝあり此事業たるや啻に安東の生命たるのみならず實に滿洲の二大事業として既に北京條約によりて日淸合同の下に經營せらるゝに決し今專ら其の設備中にあれば今後日淸共同の下に經營せらるゝ木材事業は鴨綠江上流の寶庫を開くこと從前の比にあらざるべく江岸の農產物も輕々看過すべからざるものあり又安東に近く塞馬集鳳凰城附近一帶の鑛山は遠からざる未來に於て本邦人の手に經營せられ安東一の大貿易品となり當地をして大に發展せしむべきや必然なり

現今の景況 新市街(舊市街は從來より支那人の居住せる市)卽ち本邦人の居留せる面積約三百有餘万坪昨春迄は甚だ矮少なる殆ど非人小屋に等しきバラツク建の家屋のみなりしも今や數多の旅館を始めとして商品陳列場、中和、三省、天佑等の諸公司其他和洋式の巨屋夥しく建築せられ亦去歲の陋態を止めず開氷以來一導の光明を認めて渡來せる本邦人非常に多く現下人口約五千に達し尙日日增加しつゝあり當地に於ける最大の憂患は鴨江の汎濫に在りしも本年は當局者の設計全く定まり新市街の周圍に蜿蜒たる一大堤防を築くと全時に鴨綠の江岸にも堅牢なる護岸工事を施こし鴨江の汎濫如何に其威を逞ふするも還た一滴をして新市街に灑ぎ到る能はざらしめんとす况んや如上の工事に伴ひ市街に幾流の運河を開き數條の橋梁を架設し以て運輸の利便を與へ且つ土地の濕潤を除くこと、なり既に工事に着手し旬日を出でずして其竣成を見んとするに至れり

目下の商況 花柳界の盛衰は其土地の標尺なり醜業婦も亦輕すべからず况んや官民の近接に斡旋して良好の機關なるに於ておや誠に滿洲の開發に於いて邦人の指導者と云はざるべからず當地の遊園地各妓樓は昨今非常に寂漠たる光景を呈し却て市場附近の小飲食店殷盛を極む商況の沈靜推して知るべきなり

●暹羅皇族の大連御上陸 暹羅皇族ナコンチヤイシー殿下の御一行は我か軍艦赤城に御搭乘旅順を經て去る一日大連に御入港あり午后二時艦の投錨すると共に御出迎へ申上けたる石塚民政長官、伊崎旅團長、大久保防備隊司令官其他陸海軍佐官等に導かれ給ひ艦の汽艇に召させられ同艦軍樂隊の吹奏する暹國々歌の嚠喨たる樂音に送られ防備隊棧橋より御上陸あらせられ同隊棧上に御小憩の後ち同構內を御一巡ありて豫ねて御旅館に定められたる東洋ホテルにて少時御休憩あり夫れより露人經營の大棧橋及び市中の各所御巡覽あらせられ守備隊を御訪問步兵の操練を覽はせさせ給ひ一應御旅館に御歸還の上午后七時民政長官の御招宴に臨ませられ午後九時より更らに目下東京座に開演中なる滿洲座一坐の兵隊芝居を御覽あり花電燈の下羽衣繡へつて霓裳舞ひ之れ譬へは狂蝶落花に戯むる、に異ならず艶麗言はん方なき美しさに御感斜ならず御滿足の體にて十一時御歸館相成りたり(二日大連通信)

●遼陽西方の馬賊鎭定 遼陽西方劉二堡に於ける馬賊の一群は一時猖獗を極め其の勢力侮り難きものありしが爲め討伐に向ひたる淸國官兵に尠からぬ負傷者を生じ較もすれば官兵側に逃色を視んとするの傾向を生じ更らに遼陽より銃器彈藥を同地に送りて對戰中なりし次第は已に讀者に報する所ありしが其後官兵側に於ては銳利なる銃器の補充に勢を得て奮戰して終に是れを鎭撫鎭定するに至りたりと云ふ

●麥粉の輸入高 昨年十一月以來本年三月迄に於て大連を經て滿洲各地に輸入したるメリケン粉は鐵嶺に向け三百三十二車、昌圖に七十一車、奉天に四百八十四車、瓦房店に十一車遼陽に百六十三車、旅順に六十四車、普蘭店に五車蓋平に二車、仙金寨に二車、得利寺に一車合計千百五十三車假りに七噸車として計算すれば三十六萬三千百九十五袋なり又營口より鐵道により滿洲內部に仕向けられたるメリケン粉は鐵嶺に六百〇五車昌圖に八十車、奉天に八百九十車、遼陽に四十二車、煙臺に二十車、大石橋に二十車、撫順に十三車、開原に五十二車、合計千六百四十二車にして大連より多きこと車數に於て四百八十九車袋數に於て十五萬四千〇三十五袋なりといふ

●軍政官の恩賜品分配 先きに與倉當地軍政官が歸京するや我か陛下には特に拜謁を給ひ當地軍政の情況を具さに聞こし召され優渥なる御言葉を賜はり且つ慰勞の御しるしとして一折の菓果を賜ひたるに與倉中佐は是れ一つに下僚精勤の故なりとして謹んで其の一片を自から拜味し特に風月堂に命じ餘片を粉沫として加へ恩賜菓同樣のものを製造せしめ今回之れを携へ歸へりて下僚一同に分配し尙ほ當地公議會にも頒ちたりと云ふ誠に近來の美談と云ふべし

●何厚琦の辭職後報 遼陽知州何厚琦其の職を辭したる次第は既報の如くなるが同氏は奉天に在りて暫く靜養するの意向なりと云ふ

●米國震災救濟慈善幻燈會 遼陽基督教靑年會軍隊慰問部主事今井熊太郎氏發起となり米國震災救濟義金募集の目的を以て去る二日夜遼陽城內に於て慈善幻燈會を開催したるが來會者淸人百名邦人三十餘名にて幻燈の都度藤田通譯官淸語にて一々說明を加へたれは淸人側の威興を惹き却々の盛會なりしも來會者は重もに淸人にして相當の義捐金ありしも邦人の來會するもの意外に尠なかりしを以て發起者の意を充たすに足らざりしは最も遺憾なりき

●公議會の招對會 當地公議會は親睦の意を表する爲め六日午後五時より奧東會館に我か軍政署員及び領事館員を招對して盛宴を張る由にて尙は餘興として支那芝居の催しあるべしと云ふ

●遼陽の臺灣溫故會 來る九日の土曜日を以て同地に在留する邦人軍人軍屬を併せ臺灣溫故會を開催する由なるが同地には臺灣の地に足を駐めたることあるもの數十名ありと云ふ

●人の噂(十二) 新任の日本人會許議員の品定めをして見よう高橋淸一は花嫁の如く新任の柴田要次郎は婉白息子の如く新任の太田喜平は田舍の若旦那の如しだ而て今の高橋は嫁にして柔ゅかき姑女の瀨川領事と相和合して家庭に風波なし井上泰三はハイカラ式夫妻の模型なりと併し技師立女形惡形を扮しても大向は喝采せす大井憲太郎は豪傑の剣製宮崎宗朝の容貌は頗然として一の靑堆子村長なるも十八歲ヶ里正を勤め縣官なる數十年外溫內明の仁中辻喜次郎は其親友中橋德五郎の忠告を容れ、或る時期まで紳士商賣の株を買はされは許議員に受任せまい、辻善次郎は風采揚らさる人、山本瀧四郎は宛然たる村夫子宮井治一は、尨大豚の如き身体を振舞して能く働く人、躑山長次郎はハイカラ標本、小泉市太郎は溫良の君子偶ミ疳癪起すとあり先づ此等で止めよう、▲營口は趣味索寞で各家を訪問するに壁間一幅の書畫を掲けあるを見す唯た平岡氏の王石谷山水の大幅盛進洋行中辻氏の頼山陽幅書玉瀾女史の畵蘭酒井國手の廣重四條納涼の圖梅嶺の揚柳觀音圖の掲けあるを觀て金迷紙醉の裡に斯の雅趣ある主人の心中床しく思ふ石谷の畫は余輩の評定に入るべくもあらねとも特に山陽は逸品なり他の漁色と賭博とのみを趣味とするヂモ紳少しく抑損する處ありてはどうだい、余は決して骨董アサリのみを慫慂するにあらす(リ、な生投)

一往一來

▲大久保大連防備隊司令官 三日出帆の商船鐵嶺丸にて歸京す約二個月間滯在の由(大連)

▲辻新次氏 は韓滿視察の爲め二日大連に到着大連ホテルに入れり直ちに營口に向ふ筈(仝上)

春八題 春風

春風に翼ひろげし孔雀かな
春風や宇治は茶所唄所

宵の春

宵の春猫踊せて見たりけり
與人の衣縫ひけり春の宵
春の宵密に梅を折りにけり
春の宵花切る道を習ひけり
春の宵女に負て枕引
春の宵船に三味引く湊かな
春の宵習學院の灯かな
歌書きし庵の行燈や春の宵
春の宵都嫁すてふ火の見る
春の宵理想の戀を語りけり

ヘナブリ二ツ三ツ四ツ　ヘナ子

ヘナ腹もヘナヘナしたるヘナぶりを
ヘナ子をまねて二ツ三ツ四ツ
さよふけて公園わたりぶらつけば
乙な人かげ二ツ三ツ四ツ
エビ茶式部お辭儀の拍子包みより
落ちし燒芋二ツ三ツ四ツ
きぬ〴〵のをしき別れを口でもり
かろく肩先き二ツ三ツ四ツ

汽車時刻

關內外鐵道

上り
營口發前八、三〇 七、〇〇
溝幇子同九、四五 九、〇〇
錦州同后三、四五 二、〇〇
山海關着六、〇〇 八、一〇
山海關發前八、一五 五、〇〇

下り
山海關發前七、〇五 四、四五
錦州同后三、五五 二、〇五
溝幇子同 二、四五 四、四〇
營口着 四、五五 七、五一

東淸鐵道

上り
新民屯發前六、〇〇
溝幇子着同九、五七
營口發前六、三五 后九、三五
大石橋着同七、三〇 一〇、三〇
大石橋發前八、〇五 后一一、〇五

下り
溝幇子發后三、〇〇
新民屯着同六、五七
大石橋發前八、一五 后一一、一五
營口着同九、一〇 一一、一〇
大石橋發前七、三五 后一〇、三五

日本石炭新荷着
多少に係らず御用仰付られ度候
綏定門街(電話百五十七號)
新正倉庫

西海洋服店
歐米各國最新流行形
(電話百二十七號)

諸鐵工製作
鐵山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街ロシア商會東
喜川鐵工場

天氣豫報

營口地方天氣豫報 自五日午後六時至六日午後六時
南の風晴れ後ち曇り
昨日の氣温 昨日最高溫度七十九度二 最低 度七

雜報

●奉天だより（五月三十日）

野鬼生

▲當地に奉天日本人會員があつて毎月銀一圓宛を徴收されつゝあるから日本人會なるもの、ある事が分かる、所が其日本人會なるものは何處にあるか分らない、會長は井上正金、副會長は三谷關東君である事は聞たが扨て事務所なるものはない軍政署から日本人會の爲めに家屋は貸してあるが夫れは愛國婦人會の看板が掛けてあるそして其實は檢黴所になつておるそふだ一體日本人會なるものは一人前一圓の金を徴收して如何なる費途にあてゝ居るであらうか如何なる活動をして居るのであろうか聞說らくんば評議員の多數は旅館料理屋の御主人であるそふな又一方婦人會なるものは十中の十、百中の百藝者仲居の集合体である所から考へると日本人會が檢黴所になつて居るのも敢て不思議でないかも知れないが旅館料理店に關係のない奉天在住の日本人は能く默つて見て居ると思ふ須らく會長副會長を促して大活動を起さしめ各自の利權を增進せしむる事に盡瘁させねば毎月の大枚一圓は溝に投げ込むと一樣である起てよ奉天在住の日本人

●滊車旅行をして見るに各驛ともなか〳〵親切である然るに當地驛員の內には間々不親切極まるものがある乘客を見ること囚徒の如く驕慢なること高利貸の顧客に對するが如くてある彼等は乘客を包括して軍事輸送にをける貨物の夫れの如く考へておるのではあるまいか苟もる可く親切を盡さねばならぬ譯である高利貸の乘車賃を取る以上は出來得る限り便宜を與へ成態度ではならぬ斯の如き輩は必ず一方に於ては公私を混同する事を敢てするの人々であるから他日必ず失策を出來すのは火を視るよりも瞭かである其時になつてからでは已に晚い宜しく今の內に改悛させるものはさせ出來難きものはどし〳〵處分して鐵道經營上の面目を保つことにしてもらいたい

●當地は余程寬大の所があると見へて彼の姐さん方が袴なしに步行くのを見受ける由來此袴制度は風俗取締上から出來た事と思ふが營口遼陽の如く餘り嚴に失すると白髮の老婆が頭巾を冠つて筒袖に袴と來たら全く見られた態でなく又奥樣が丸髷に小紋の紋付を着て袴を付けたるなど丸で巫子其儘で却て風俗を害する事甚だしいが當地の如く浴衣がけに足袋もはかず風に扇られて紅湯卷と白脛とがちら〳〵出るなど苦た見苦しい是は其筋の取締がなくとも各自に於て注意せねば日本人の体面に關すると思ふ

●遼陽西門外の強盜

（邦人重傷を負ふ）

去る三日の事なり遼陽の西門外を出でたる降り坂の側にある林雜貨店に滯在する村田正義といへるもの曉の四時前と覺ぼしき頃隣事ならぬ物音に不圖夢を破り不審を抱きつゝ同家に滯在する他の一名を呼起し銃かに門を出で、附近を窺ふに其の隣家なる料理店長登館前に微かに人影の見ゆるよりハテ合點行かぬと少時擧動を睹てありしに夫れとは知らぬ二人の盜賊正に門より忍び入らんとする樣子なりしかば聲を限りに誰何せしより件の賊は周狽章狽韋馱天の如く逃ぐるにて此の奴逃がしてはならじと後を追驅け氣休亭の門前に至り此を捕へんとする一剎那賊は携へたる凶器長さ一尺餘の秋水をひらめかしグザと一突き村田正義は右足の腿を貫抜かれたり重傷を負いたる事とて其の塲に倒れたれば詮方なく大聲を揚げて馬賊〳〵と叫びたるも出て來合せたる淸人は唯傍觀するのみなれば件の賊一名は城內へ一名は城外へ雲を霞と逃げ失せたり重傷を負ひたる村田正義は直ちに應急の手當を施し三木醫院に於て目下治療中なるが幸にして一命には別條なきも刀傷の筋骨にかゝるを以て全治するには多數の日子を要すべく經過の如何よりて或は不具となるやも計られざる由なり其の節賊の放棄したる包物に邦人持ち懷中一ヶ現金一圓三十錢、男子用防寒首卷、支那服一包、婦人用スポイド三ケの雜品ありしは皆盜難物にて二個のスポイドは三木醫院の盜難品なりしと而して遼陽城外に出沒する盜賊は多く曉天の頃恰かも人の熟睡する夢の間を狙ひ忍び入り何れも鋭利なる凶器を携へおれりと云へば自衛警戒は最も必要の事たるべし

●遼陽城外の夜警に就て　かねて同地城外に在住する邦人間に於て夜警を行ふ事となりをりたるも城外貸下家屋還付の大問題惹起したると其の後暫く盜難の聲を絕ちたる小康を得たるとにより何れも夜警を閑却するに至り一二の人は頻りに夜警の必要を說き奔走する所ありたるも多少費用を要するを以て容易に成立せず杞憂みなりをりたるが別項の如く賊の徘徊しをれるを見れば今後不測の災禍に陷る事なき樣防禦の夜警法を講じ各自充分なる警戒を加ふるは目下の急務なるべし

家庭小話

▲埃風の豫防

昨今の營口の埃風と謂つたらお話に爲らぬ閉口所で無い獅子鼻のやうな大きな鼻でさへペッタリ塞さがつて了ふ吹く風だから吹かさずに置くといふ譯に行かぬだらうから責めては豫防の方法でも考へ無くちやならぬ豫防といへば差し當り水を撒くより外は無いであらうが仕合せな事にや營口のやうな鹽分を含んで居る水は撒水上極めて利益がある凡そ普通の海水中には鹽分が沃土とが多量に含まれ居る此兩者は殺菌上極めて有力なる感作用を有して塵埃中のバチルスを殺して了ふ力があるのみならず永く濕り氣を保ちて乾きが割合に遲いから海水を兎に角毎日三度位…………朝夕晚の三度位撒くとしたら衛生上甚だ有益なるのみならず不愉快な生活が幾分か輕減するとが出來るであらう一體塵埃といふものは能く考へて見ると極めて不潔な物で殊に營口のやうな處ではチャンの小便も雜ざつて居るであらうし、犬の糞の粉末もあらうし種々樣々な不潔な物があるので幾多の病菌が含まれて居る即ち第一が結核の黴菌第二がトラホームの黴菌第三がペストの黴菌である名前を擧げればまだ幾十と黴菌があるが是れ丈けでも人體に害を及ぼすとは一通りで無いから撒水は軍政署の仕事だなど言はないで各自自分の家の前位は毎日水を撒くとにしたいものである

●又も退去　昨紙は遼陽奉天鐵嶺等居住者の退去處分を揭げたるが本日は營口居住者の退去處分話茲に愛知縣人現時元神廟街居住水野春太郎(二五)及び長崎縣人之れも元神廟街居住運送業久什呂藤太郞(四五)の兩名は本年一月頃より商業視察の名を以て遼陽方面に旅行中常に遼陽奉天を股に懸け官許を得ずして日露交戰の際遺棄せる兵器の買收を業とし其他不正の行爲も數々ある由にて去一日遼陽軍政署より當軍政署に送致し來り嚴重取調たる所逐一白狀に及びたれば特別のお計ひを以て向ふ一ケ年間關東總督府管外に退去を命ぜられたりと云ふ

●遼陽〃柳しらべ　オット遼東館の友子、待てといへば待て、なんだ惡口を言はれるから、御免を蒙むると云ふのか、それじや手短かく、咄をしやうが、お前も矢張り臺灣渡りで、相撲なら遼東館の三役、マー小結どころじやね、色の黑いおはきなからだは水牛其のまゝで、お前は臺北におつた頃、水牛の友子と呼ばれたげな、オホヽヽいやですよ　廢止なさいよ、ウムそれじやお情を以て、臺灣の履歷は省いて遣らうが、一体お前のからだは、船にたとへたなら戰鬪艦で、幾たび毎の海戰にも、無事息災一度も、ドックに入らんとは恐入つたよ、つまりお前のからだは滿洲向き軍人お誂へじや、なんだ軍人などより百姓むきと云ふのか、なんだと軍人より農家の方が、親切で金拂ひがサツパリしておるさ云ふのか、オイ〳〵友子それで漸くお前の意中がよめた、なる程お前の弗旦は、ヘ、あの濃艶魁の低からぬ、それで農家がよいとか、親切なとか、お惚氣喃漢を俺に聞かしおつたな、而し友吉おのろけは、おのろけとして、どおじや早く濃艶魁に身を片付けて、鋤鍬でも握つ眞面目の世渡をした方が、行く末の爲めじやぞ、エヘン百姓なんかする積りで、此の外國の滿洲三界まで來たのでオマヘン、イヤ友吉お氣に障つたと見へる、それじや何か奥さま然と搆へ、頤で召使人を差圖し、お罵づくめで、そして百姓をするのなら、ウンと云ふのか、オホヽヽヽ先づこれで誤機嫌が直つたと見へる、じやが友吉イクラ濃艶魁の低くからぬお方でも、左樣うまくは問屋が卸さぬ哩（厄介坊）

●頭陀袋

疑ひば木の根も幽靈に見え迷ひば梅毒の傷も笑靨に見ゆとか賤しき心の俗人は朝返り乃至野合の待合せと猜するに反し淸き心の雅人は朝霞を吸ふかと感じ⋯月の賞觀と嘉ふべし疑ふと疑はざると俗人雅人との別斯くも甚しく隔てある也客臭い他の落度を密かに第三者に告ぐるその間には何等かの汚なき消息が含まるゝものなり殊に同僚若くは知人の過失をホヂクリ出して忠義顏に目上に知らしめんとするが如きは一種の犬にあらずんば巳れの短所を掩はんとする胡魔摺輩のみ即ち彼等は自巳の非を掩ふに急なるあまり啻にその汚なき心を以て他を猜するに止まらず果ては種々の事實を担造してまでも他の傷くを欲するにあらずや而も斯る卑劣の手段は社會の凡ての階級に於て多く見るところたり若し夫れ斯る人物を知人に持つものは大に警戒する所なかるべからざると共に苟も人の上に立ち數種の人間を御するの位置にあるものは須らく大なる眼光を要すべきなり然らざれば犬、胡魔摺その物の目的や針よりも少かりしに反しその結果や遂て無辜を殺し己れを識らしむるの大を致すこと稀らしからざればなりサテもうるさき浮世なる哉

廣告

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
大連盤城町　岡野新聞舖
安東縣新市街　天祐公司
新民府　泰東公司

銃砲火藥販賣業

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜顧請至本行面議可也

營口元神廟街　免許商　武田洋行

煉化及雜貨

右多數貯藏罷在候間多少に不拘御用命被成下度尙多數御入用の節は特に御相談可申上候

營口元神廟街十號　東海洋行

庄田次郎米

葬送の際は遠路御會葬を辱し御厚情奉深謝候混雜の折柄皆名伺洩らし失禮仕候儀可有之乍略儀以紙上御禮申上候

六月二日

兄　宮崎宗朝
親戚　淺田龜吉
新井實
友人　後藤美知治

料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新來當街々　御料理　本店　金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街　御旅館　金城ホテル（電話二〇）

四方各位益〻御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府たる當奉天小西關大什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士縉商諸彥の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付き今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來當衙に設け以て專門の料理店となし日本式大宴會百人迄の設備有之候並に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切噂に衛生と淸潔を主とし精々勉强廉價に相務め可申候間尙一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は南方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被下度特に願上候

御料理　營口永世街　支店　金城館（電話八二）
御旅館　營口永世街　支店　金城ホテル
御料理　大連市吉野町　支店　金城館
御旅館　大連市吉野町　支店　金城館

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口南永世街憲第三十六號　北斗洋行質屋部

馬場熊一へ

四日迄に歸宅せずば五日朝には必ず告訴する御存じの方は本人へ通告を乞ふ

産婆

營口永世街甲第百〇三号第二市塲停車塲西側　川口榮子

廣告　美人投票

弊館本月四日より向十五日間祝開業二週年左の方法を以て美人投票を催し容貌及遊藝の秀でたる美人各一等より十等迄を當撰者を定め左の賞品を贈與します

一等　純金指環　元價　三十圓
二等　寫眞機械コタック　同　二十五圓
三等　全紙二枚掛引伸　同　二十圓
四等　全紙行伸　同　十圓
五等　半切引伸六圓　六等　四ツ切引伸四圓半
七等　八ツ切　三圓半　八等　カビネ　二圓半
九等　紀念帖　一圓半　十等　繪はがき　三打

右等級は最高點者を一等とし以下是に準じます
右の內一等より五等迄の當撰者は精巧なる寫眞銅版とし廣く滿洲日報購讀者へ配付し名譽を世界に發表します
以上の方法を以て美人投票仕度候間御贊成の諸君は弊館に付て投票用紙御求め被下度弊館は撮影金額に應し（一圓に付十枚の割）投票用紙を進呈します時に多數御入用の方は便宜上弊館の寫眞撮影券を御購求下されば同上の割合にて進呈します右撮影券は二圓五十錢、五圓、十圓の三種にて六ヶ月間有效です之も四日より同時に賣出します体裁等も頗る高尙なれば進物用にも適し至極重寶です
投票の塲所は永世街鶴の湯の前、日本町東京館附近、三船寫眞館路地の三ケ所に備てありますから隨意に御投票を願ひます、投票の結果は公平を保つため滿洲日報社員及料理組合事務所員の立合を請ひ開札し毎日滿洲日報に掲載します

月　日

營口元神廟街　三船寫眞館

●美人投票開函（第一日）

二十五點　第一樓　よし子
十五點　大吉樓　さわ子
十三點　滿月　うた子
十三點　東京館　おすゑ
十一點　菊水　太郞

古料理

滿月　平野町（電一六二）
滿月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

盛公

一各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ

デカラホテール內にて

東營口元神廟街　寶泰祥　福興洋服所

新荷着
▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹、疊
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲石材

喜久洋行
營口永世街八十號
（電話百五十二番）

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠料有專銷之約凡新聞紙料印書蘇各式紙包非票句棉紗料草板紙張日本標準連史紙彩印字連學其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

日清合股
資本金參拾萬圓
昌
滿洲昌圖株式會社 營口分局
營口元神廟街第貳九八號
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官存認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道及海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路福要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧將所貨客親自到本局房及各處分局賬房面議爲荷特謹白倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按御地市價包補此

第三回新荷着
恵比壽ビール
金針洋行
盛進商行

氷
田庄臺大盛貯氷公司 軍政署御認可濟 飲料好適
發賣元
田庄臺大盛貯氷公司 販賣部
營口元神廟街成功號三階（電話一三四）
特約販賣店
丸山氷室 營口二本町日莊洋行方（電話一六九）
三輪衛生軒 營口永世街（大和館向）

白煉瓦 瓦
並に各種石材販賣
營口青堀子
加州組
電話八十六番

營口
裕和盛
電話八一番
東淸鐵道 遞運
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
內外煙草、葉巻
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外色々
卸並に小賣
彩票
大連 南洋 湖北
發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

商標 キ キ キ キ キ
夏もの大賣だし
永世街第貳市場前
木村呉服店
（電話八八）
六月九日より六月十三日まで
出張 日章館方
奉天小西關大什字街南へ入

卸小賣共特別廉價に御願可申候
黑 赤
深ゴム編上靴新着
營口永世街
盛進商行

ペンキ塗請負
京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

○板材木 ○金物類 ○疊建具 ○椅子テーブル ○洋燈類 ○鰹節雜魚 ○酢醬油 ○其他雜貨色々
○蚊張 ○金庫 ○花莚 ○ペンキ ○文具 ○紙類 ○罐詰
新荷着大安賣
石
石光洋行
營口西北街
遼陽西門外
石光洋行支店

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船頼朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戶、門司、大連、營口間に定期航海せしめ滿州內地には左の箇所に出張所を設け海陸及輸送輸出入品委託販賣業に從事仕候
猶東淸鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候
本店 大阪市西區西道頓堀貳丁目 河邊商店
支店 營口元神廟街 松茂洋行
大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所
鐵嶺西門外 松茂洋行出張所
昌圖府驛 松茂洋行出張所

總經理批發
回天堂三木大葯房
電話百九十番 營口永世街
氣分を爽快ならしめ口中を潤し聲を美す
ゼムは偉大なる効能、愛すべき美味、馥郁たる香氣を有し消化と毒けしに効ある良劑也
ゼムは氣候の變り風土異なる惡臭の場所に携帶し常用せば時候あたり、食傷、水偏を治し流行惡疫を預防なす一等劑なり
ゼムは紳士、貴婦人、軍人、學生、實業家、旅行家の必携劑にして集合場、雜踏場、宴席、汽車、瀛船中に於ては欠くべからざる要劑なり
ゼム二三粒を含めば精神快活口中優雅佳香を放ち人座に爽快を感ぜしむ
故に衛生家は談話、喫煙、飲酒、食前食後に賞用なす貴重良劑なり
陸海軍人、華族、醫藥學博士より賞狀を賜ふ

藥價 七十五粒拾錢 百六十粒貳拾錢 四百卅粒五拾錢 九百粒壹圓
日本一手發賣 東京馬喰町二丁目 愛國堂 山崎榮二郎
支舗 大阪高麗橋二丁目 山崎兄弟商會
●全國到る處藥店化粧品店に有●にせ物御注意を願ふ

發行 天津 北京 山海關 大連

宮門抄

初十日
內務府 廂藍旗值日無引 見 前河南學政王 到京請 安
棣壽假滿請 安 松公續假十日 主中堂奏請開缺
掌儀司奏十五日祭
奉先殿請員子行禮
召見軍機

上諭恭錄

初十日奉
上諭王文昭奏假期屆滿病仍未痊懇請開缺一摺王文昭宣力有年諳練老成朝廷政資倚畀着再賞假一個月安心調理一俟假滿即行銷假欽此

奏議

福州將軍崇等奏駐防練軍添籌餉數改編營制摺

奏爲福州駐防捷勝營練軍添籌餉數改編營制以資實濟恭摺仰祈 聖鑒事竊奴才等承准練兵處咨福州駐防興練捷勝前後兩營計官兵一千餘員名歲需餉銀約三萬餘兩一切章程悉沿舊式自應遵照奏定新章切實改練俾收實效惟新制需餉較多該駐防財力或有未逮應即就該兩營現有餉數再行設法添籌若干按照奏定新章酌量核減餉數改編步隊二營以歸畫一而資實濟等因咨行前來伏查捷勝營練軍原定營制餉章係由滿洲八旗及水師旗營兵丁閑散內挑練一入成爲前後兩營每營分爲五哨計兩營共設營官二員月支薪費銀五十兩哨官十員月各支薪費銀十兩哨長十員月各支銀七兩正號兵什長十名月各支銀三兩六錢 副號兵什長十名月各支銀三兩什長七十六名月各支銀二兩四錢鼓號什長四名月各支銀三兩鼓號兵三十六名月各支銀二兩四錢正兵八百六十四名月各支銀二兩操夫二十八名伙夫一百名月各支銀三兩此外設總理營務處兼統領一員月支薪費銀六十兩文案三員月各支銀五兩書識三名月各支銀三兩以上營務處弁兩營官兵夫役共一千一百五十一員名每月支薪費二千八百一十二兩八錢全年共支薪費銀三萬三千七百五十三兩六錢在於閩海關洋稅項下及藩庫各半開支該兩營自光緒二十四年成營起用單響毛瑟槍改練洋操無間寒暑奴才等迭次到營校閱見其訓練嚴明營規整飭各官兵等逐日操習行軍辛勞備著上年於操場附近開設學兵營一所飭令武備學生等仿照武備學堂課程分任教授各兵現已頗著成效刻更擬於營內設立講武堂令各官兵大加討論以期精益求精惟操演雖本新章而營制究沿舊式且原定官兵薪費過於單薄較之閩省常備軍餉數相懸太遠奴才等正擬 奏請酌添薪費一律編改適准練兵處咨令改爲步隊兩營應即遵照辦理現擬將原設營務處改爲督練公所即以總理營務處兼統領派充參議官兼辦兵備參謀教練三處事務並仍兼該營統領以營務處文案書識補充督練處文案清書兩營官補充管帶官兩營哨官補充督隊官兩營哨長並武備畢業各學生補充排長兩營練兵則悉按其原設補充正目副目正兵副兵其向習鼓號者令充號兵號目優於文字者令充各司書生至原設伙夫一百名今照新章每營僅用三十八名同營共用七十六名應裁汰二十四名原設操夫二十八名現因該營演習行軍正資遣用應存留二十四名裁汰四名以上改設督練公所並新編步隊兩營計官兵夫役共一千一百八十五員名較原設增添二十八員名仍由八旗水師營內挑選補足其餘各項執事可兼充者先令兼充可緩設者先從緩設以節糜費惟是營制既經編改與閩省常備軍同一認眞訓練其薪費自未便過令偏枯應遵照練兵處來咨就原有餉數再行添籌支給以示體恤現經逐一酌擬數目計每月共需銀四千六百九十三兩六錢遇閏照加比照原支月餉僅多支銀一千七百四十五兩全年共多支銀二萬零九百四十兩核之奏定餉章及閩省常備軍餉數實已大加減省謹繕具清單恭呈 御覽如蒙 俞允擬請照案由藩庫及閩海關洋稅項下各半開支再該練軍每年夏冬二季向各領製操衣操褲靴帽旗幟一次現既加添人數購製件數自必增多且帳棚雨衣等項爲野操不可少之件該軍前亦未議請製奴才等擬俟新軍編成時估需價值各若干再行隨時 奏咨辦理合併陳明所有福州駐防捷勝營練軍添籌餉數改編營制各緣由除分咨外理合恭摺具陳伏乞
皇太后
皇上聖鑒訓示謹 奏奉 硃批練兵處知道單併發欽此

中外要聞

●對付滿洲經營之方針 東京函又稱此一項亦於廿二日元老各大臣會議之際由首相西園寺侯宣明稽查事宜一切方針業經元老各大臣承允矣茲將所訪查大略要項開敘于左

一尊重中國之主權承允列國利益均霑統爲獎勸中日兩國民人合同興辦之事業起見而以開放滿洲爲要圖

二凡涉於武權壟斷之情弊務須拋擲俾滿洲所有中國民人不至誤會日本經營滿洲之方針

以上兩項實爲日政府所悉心籌策者不留寸毫虛妄之念務以誠意相加亦實爲保持東洋永遠之平和起見于試再將其命意敷衍于左庶閱報諸君幸勿輕易看過斯可矣

一武權壟斷之情弊祇使列國益有疑懼猜忌之念倘推其餘勢之所及則於 本帝國之大方針亦甚有可憂者焉

二或因經營滿洲北部方略尚有未盡其良好者旋即有損害於中國南部一帶地方民人之感情是以一部之故招全局之岐節尤非智者所爲務須以保持平和爲要圖

三現在中國之風潮有需異常留意者如收回利權抵制美約等問題甚爲衆心此時若出以武權壟斷之手段不能矯制其不正則旋爲一二商業之强國所利用再致令歐洲某某等兩國乘機進發與中國相昵近仍須加意愼重以期措置得宜

以上方針已定如山岳之不可動搖諒應將滿洲所有各處軍政署從速裁撤務不致再增歧節云又如大連海關事宜刻已經商訂自應如何照料以便實際舉行

綜而言之日政府經營滿洲事宜唯除財政問題外統已有一段之着落焉其他瑣細事項不庸詳述而知之

●九廣路問題結果 九廣鐵路岑督與英政府互有意見堅持不下因久起衝突遷延不決者數月於茲矣上月岑督覺悟如堅持廢約互不相下毫無開辦之一日頗有妨於商工業之發達竟爲退讓與香港總督磋商擬與英國訂約借欵以鹽釐爲抵籌辦資本歸中英合辦聞此項交涉屢費商榷刻已核奪已於日前由岑督據實電請外商兩部照允云按九廣鐵路問題中英兩國互執意見不肯轉圜竟無開辦之一日於中英兩國有損無益岑宮保香港總督均有見於此互相退讓數月之難問題略見辦結執筆人深爲中英兩國賀焉

●日本定滿洲經營之方略 東京專函據稱日政府滿洲經營調查局前經屢次磋議已于上月間由首相西園寺侯未赴滿洲以前粗已劃訂方略一切併應實際照辦並將各種方法具案呈奏業經各閣部照料矣茲獲聞經營方略之一斑據云鐵路礦山森林等三大事業統歸官民合辦組織一大公司所有鐵路礦山等各財產仍由政府供給預訂價格約七千萬元以爲股份如股東資本總額有所不敷一例召募股本集腋成裘務期早日底績但組織公司資本總額一百兆左右均將公司財產抵作保款或由外商籌辦或由內地諸紳董籌辦刻未悉如何措置倘修築鐵路暨開採礦山等各事後需款極鉅諒更應提撥幾百兆以資經營一切之襄辦云並聞此案業經陽九月二十二日元老各大臣會議越翌二十三日已由閣議協訂均經具案呈奏云

●英對於鴉片問題 英國議員鐵羅衞君現於議院提議對於印度大臣麻禮君申明鴉片商務事宜中國若恐心顯禁制由印度出口則英政府若因之虧絀則副中國之希望一事頗有意見已由議院贊成

●暹王遊歷到奉 據奉天電云現有暹羅皇族納昆親王由韓國遊歷路經安東已於初五日抵瀋陽自趙次帥以及中日官紳均赴車站恭迎頗形擁擠該親王在日清俱樂部駐節次日趙次帥親赴日清俱樂部面謁該親王其晚日本總領事軍政官等假座日清俱樂部恭請該親王趙次帥公宴聞該親王擬於瀋陽營口等處游歷之後來京遊歷云

●議教案請保主權 南昌教案問題迄未了結現新任法使巴君到京不日即行開議聞昨外部接駐法劉星使式訓有電來請堅持辦法勿稍遷就致失主權因各國多以此案其咎在法教士我若認咎不但不足平人心之激憤實亦足貽列國之藐視也

●述內田欽使之言 據長崎函云內田欽使語客略謂開放滿洲主義係我國公論而中國官民亦夙所提倡刻正飭令各省將軍派員勘查預備開埠我國官民宜體此宗旨助清政府實行之又曰中俄議約正在停議之際蓋俄國所要求者中國不願允認彼此互有意見未易轉圜也

又言及中日邦交事宜畧云中日邦交益加親密中國派赴我國考察制度者亦逐漸加增日內有中國考察司法制度委員啓程來東矣

●剿辦河湖會匪 福建漳浦會匪滋擾已久雖經官兵兜剿此拏彼竄迄未肅淸茲聞廈門來電現安溪江澄兩縣地方倏有江湖大幫會匪起事勾結漳浦匪黨刦掠商民抗拒官兵異常猖獗閩督已接京電催勳故又增兵前往速勦以靖匪患而安閭閻

●德皇論中國編制陸軍之辦法 東曆五月十九日據倫敦電報稱德皇於引見中國端戴兩大臣之際聲稱貴國要編制有勢力之陸軍無須倣照各國軍制必與日本協商切實規劃庶于籌備之方法等自無謬誤語 按此係大阪每日報專電未悉其確否姑誌以廣異聞云

雜報

●公議會員請讌 此次在本埠公議會員等欲圖中日兩國人之親睦因之本日下午五鐘於西營口粵東會館招請日本軍政署員暨領事館員大張盛宴且開塲演劇以助其興趣云

●北鎮火災 昨聞北城友人云本月初六日朝陽鎮街於午前時分不知由何家失愼連燒大小舖戶三四百家風狂火猛延燒居民不計其數該鎮街市多付焚如統計被燬之地約長三四里云云

●土車傷兒 本埠有一趕車戶王姓者人皆稱之曰鬼子今午前其一車滿裝乾土至大官塘東沿適有羣兒嬉戲路旁內一九歲小孩誤跌轍內被該土車從腿根軋過傷口約三四寸許當時不省人事車戶速將小孩抱至醫院調治後聞此孩係在水晶宮開茶館曹姓者之孫云云

●欺毆小販 昨午後有一肩挑貿易賣燒餅者手執籃筩在永協玉飯市出賣忽有一穿靑衣戴草帽者手中無錢至要抽籤小賣者阻之苦口告云欲用其物遂便取食可也望祈憐憫靑衣者不允非抽不可其人無法挑担速行靑衣者大怒捉髮拖回拳毆數四幸有來往行人勸之靑衣者猶不允髮已捉出大半其髮根翻白浸血令人不忍入目仍奮捉住欲送保甲局治罪當有多人央勸始怒目恨恨而去如此豪惡不知靑衣者爲誰想係家有濶老官故敢仗勢欺人耳

●新花魁之出現 昨報將各妓之所長已經登載今有好事者於中拔其四元爲壓制舊日花魁之舉蓋舊花魁爲德寶奈其結識伶人不重其品故有出而抑之者非無因也想該妓聲名頓減今意蕭疏固意中事且恐其不能安命必爲泛舟送貨之買賣更將不值一錢耳今將擬訂四花魁之名紀之以爲探花使者導 文魁 翠玲班花小寶 武魁 桂淸班大寶 唱魁 口口班寶鈒 雛妓魁 德增棧小金子

●行函近稀 昨聞海關郵局人云本港向年以來每當舟船販運之際太古怡和及招商局二大行諸輪船日有多函郵寄往來距今春北載不合南行南貨不利北市因而南北商客莫可留還以致罕有郵函近經淡甸未見該三大行之信函云

●貨船到埠 昨午後由上海新到愛仁輪船一隻共裝貨物約三四千件後有海口四川二輪聞亦裝貨來營大諒一二日內必均到埠云云

笑林

●此內科事我外科也 聞有醫者稱善外科一裨將陣回中流矢深入膜內延之使治醫乃持并州快剪爲剪去失管跪而請謝裨將曰箭鏃在膜內須急治醫曰此內科事我外科也既非我科自非我醫不當幷責我

諺云各人自掃門前雪不管他家瓦上霜自了漢之用心大都如是此醫特語妙解頤

●但管人直那管人死 昔有醫人自媒能治背駝曰如弓者如蝦者如曲環者延吾治可朝治而夕如矢一人信焉而使治駝乃索板二片以一置地下臥駝者其上又以一壓焉而足之駝者隨直亦復隨死其子欲鳴諸官醫人曰我業治駝但管人直那管人死嗚呼世之爲令但管錢糧完不管百姓死何以異於此

今世新舊之交爭守舊者堅僻以詡國粹維新者鹵莽以趨歐化不審其事勢而圖之胥失之矣觀此醫言可勝浩歎

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之趾購本處者其價目格外公道 貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番） 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

御料理並ニ温泉 一力 每日新湯 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一八七番、四四番） 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

御料理 梅廼家 營口二本町 田村瀧太郎

料理 萬梅 營濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

御旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側 温泉付大勉强キレーヂヲイシヒ（電話 號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字街南へ入
牛肉雞肉すき燒 日章亭（電話 號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外今長館前

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 今回大改良を加へ旅館專業にし御客樣の便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候 館主 松田平四郎

御旅館料理店 新日奉館 奉天大西門際 館主 濱田アヤノ

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 關枝團提

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席御料理 玉家 主任 西野治三郎

和洋料理御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

奉天 天然清水氷發賣廣告
倉庫/儲 毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外内 大仁洋行

會席料理 三日月 營口警務課前南へ入る

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀と言ふとするは弊館の特色に御座候

旅館御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

各位樣
和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

新荷着
銘酒劍菱

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向ヒ 池上出張店

● 松岡病院
內外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は最新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄（電話一五一番）

新荷着
高等麦酒スペシヤルライト
毎々御引立を蒙り難有御禮申上候扨て麥酒スペシヤルライトの儀今般原料非常に騰貴致候爲め本月一日より左の通り値上げ仕候間左樣御承知被下度尚不相變御引立の程伏て奉願上候
スペシヤルライト 一函に付 銀十一圓五十錢也
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

軍隊用雜貨 日用品雜貨 吳服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
石原商店（口永世街七十号第二市場東）

大勉強
一會席 三ツ鉢吸物附 御一人前 銀三十錢より
一まめめし 御一人前 二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升 仕出しも仕候
營口元神廟街二〇九號
月日 翁亭

硝子製造
營口青堆子街三百六十四號
菅野玻璃廠
THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY.
No. 364, St. Chingtaizu, YINGKOW.

● 森病院
一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長 醫學得業士 森嬌
副院長 醫學得業士 長船郁太郎
一本院齒科開設 齒科醫 兒島市郎
森病院（電話一五五）

Foreign Goods.
各國高等雜貨 卸小賣
三友洋行雜貨部
清國營口永世街 甲貳拾五号 電話一五四
帽子手袋 エリ襟飾 シャツ靴下 靴鞄 洋服付属品一式
香水石鹸 婦人小間物 化粧用品 旅行用品 椅子寢台
Sanyu-yoko.

廣告
五月三十一日を以て當商會と關係絶ち候條此段廣告に及び候也
小竹倉之進
藤井一郎
日[illegible]貿易商會

風景佳絶、旅舘、料理、遊技完備
滿洲第一湯崗温泉
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀傷
營口 ○ 大石橋 ○ 海城 ○ 湯崗温泉全停車場 ○ 遼陽 ○ 奉天

為替相場（六月五日）
日本向 百〇三圓（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩（同）
天津向 一百〇四圓
芝罘向 一百〇四圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一塵紙 一〆 一圓七十錢
一全狀袋 百枚 二十枚積 三錢 十三錢以上十八錢
一室内裝品飾及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 四圓五十錢以上三十五圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一蒲綿 十枚 八圓
一麻綿 一疊敷 三圓
一由加多 全 三圓五十錢 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 銀四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙